

急げ！橋本橋の改修

市バス運転手さんの改革

Q. 三宅隆介 交通局職員の改革スケジュールと今後のあるべき交通局の経営路線の基本的な考え方を示して下さい。

A. 交通局長 平成18年度には、4種類の特殊勤務手当を3種類廃止、今年度は夏期休暇は凍結、技能職員の夏・冬期末手当は削減します。赤字補填的な補助金に頼らない財務体質の確立をめざします。

三宅隆介の視点

民間企業よりも恵まれた環境にある交通局の改革は、どうしても緩慢になりがちです。不退転の決意で改革に取り組んでほしいものです。

急げ！都市計画道路・中野島生田線の整備と橋本橋の改修

Q. 三宅隆介 現までの進捗状況と今年度の事業内容、橋本橋の架け替えと二ヶ領本川の整備はどのようにすすみますか？

A. 建設局長 II期工区は、平成8年度に事業認可（約327メートル、幅員11メートル）。平成18年5月現在、用地取得率は約90%、道路整備率は約49%。今年度は残りの用地取得、市道中野島134号線から約80メートルの道路築造工事に着手します。

橋本橋は用地取得後、速やかに架替工事に着手。工事期間は着工後、2年間程度を予定。二ヶ領川の工事は護岸の改修とスロープを含めた散策路の整備のうち今年度は一部の区間にについて着手します。

三宅隆介の視点

都市計画道路・中野島生田線は多摩沿線道路と府中街道を結ぶ路線であり、地域の活性化を図るために重要な道路です。行政当局は一日も早い整備に全力をあげるべきです。

必要性が判然としない川崎市人権施策推進基本計画

Q. 三宅隆介 本市の人権施策を拝察すると、声の大きいマイノリティ的な要求が普通に真面目に暮らしている生活者の犠牲の上に成立してしまうような事態がおこりかねないと思いますが？

A. 市民局長 基本人権は、だれにも保障される権利であり、また他者の犠牲の上に成り立つものではないと認識しています。

三宅隆介の視点

例えば、川崎市は国家があつての川崎市です。川崎市があつての国家ではありません。それと同じように、主権があつてこそその人権であり、人権があつてこそその主権ではありません。人権施策推進基本計画をつくるにあたっては、人権施策を振り回す結果、主権が侵されてしまうという認識を持つべきです。